

4day インターンシップの実例

day 1

- 9:00～ 指導患者さんの病気の解説、現状の整理
- 10:00～ 訪問薬剤管理指導 (1件目) へ
- 11:30～ 指導患者さんの病気の解説、現状の整理
- 12:00～ お昼休み
- 13:00～ 訪問薬剤管理指導 (2件目) へ
- 14:30～ 訪問薬剤管理指導 (3件目) へ
意見交換



day 1 を振り返って

一番印象に残ったのは“看護師の方が脈を測っている間に、薬剤師は薬の確認と管理を進め、管理栄養士の方が患者さんの栄養状態の確認をしている。”

素晴らしいチーム医療だと感じました。お互いの専門性を共有し合いフォローすることで負担の少ないスムーズな訪問指導を行えるんだと思いました。

また、“会話の中で患者さんが日常の不安や不満を話すことでストレスが軽減され、とても良い表情に変わっていく”を見て信頼関係が成立しているからこそ患者さんの本音を知る事が出来るのだなあと感じました。



day 2 を振り返って

day 2

- 9:00～ 褥瘡の病態説明と治療法の解説
- 10:00～ 褥瘡回診へ
- 11:30～ 褥瘡治療の現状と将来性など意見交換
- 12:00～ お昼休み
- 13:00～ 薬剤管理指導 (1件目) へ
- 14:30～ 薬剤管理指導 (2件目) へ
意見交換



褥瘡について事前に資料を用いた説明を受けていたのでどのようなものなのかを理解した上で見学が出来ました。医師の方からもお話を伺えてとても勉強になりました。人によって瘡の形、大きさ、治りにくさが異なる為にオーダーメイドな治療が必要で奥深いものだと感じました。薬剤師が活躍できる場所がまだまだ広がっていくのだと感じました。

また、午後からの服薬指導では“私がこれまで抱いていたイメージとは違い、患者さんとの距離の近さに驚きました”患者さんは“信頼できるから関係のない話でも、何でも話せてしまうんや”と仰っており、自分も直接話をする中で、患者さんからも為になる話を沢山頂きました。薬剤師の先生だけでなく、患者さんからも学ぶ事の多い本当に素敵な仕事だなあと感じました。

4日間 を振り返って

“精神科のイメージは暗い”と言われていますが実際に見てみると患者さんも医療スタッフの方もイキイキとしている様子で全く暗いイメージを持ちませんでした。

やはり自分の眼で見るのが一番で、まさに“イメージを覆す”という言葉そのものでした。薬局の先生方から学ぶことはもちろん、患者さんから学ぶことも多くて本当に充実した4日間でした。

ありがとうございました。



**“薬剤師のできる事は、自分で創ります”
一歩を踏み出す、その志を立てましょう!!**

精神科は 薬剤師が治療者になれる 唯一の診療科です



day 4

- 9:00～ 指導患者さんの病気の解説
- 9:30～ 訪問薬剤管理指導 (1件目) へ
- 10:30～ 訪問薬剤管理指導 (2件目) へ
患者さん本人だけではなくご家族さんの不安を取り除き、治療に協力してもらうことが大事であることをお話しました。1週間で変化していく患者さんの姿を見てもらいました。
- 12:00～ お昼休み
- 13:00～ 他職種研修会への参加
意見交換



day 3 を振り返って

day 3

- 9:00～ 調剤の見学と軟膏で少しお遊び
- 11:00～ 病院の良い所、仕事で苦労した話
上手くいったことなどリクエストに合わせてお話をしました。
翌日訪問する患者さんの病状・経過どういところで着眼して行くと良いかお話ししました。
- 12:00～ お昼休み
- 13:00～ 病棟案内
意見交換



病院の良い所や仕事で苦労した話・上手くいった話の実体験を聞きました。困った時の対処法や実務実習に行くにあたってのアドバイスなど今後に活かせる話でした。

後日訪問する患者さんの病状や経過を話してもらったことでその患者さんのイメージが湧き易く、分からない事を事前に調べることが出来たので良かった。

午後からの病棟見学では、病棟ごとの機能や特色の違いがあり、私が想像していたような閉塞感は全く感じませんでした。患者さんは楽しそうにレクリエーションをしていたり、自分の趣味に時間を費やしておられ、充実しているように見受けられました。